

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分  
 【発行日】平成 17 年 6 月 2 日 (2005.6.2)

【公開番号】特開 2003-96631 (P2003-96631A)  
 【公開日】平成 15 年 4 月 3 日 (2003.4.3)  
 【出願番号】特願 2001-289070 (P2001-289070)  
 【国際特許分類第 7 版】

D 0 2 G 1/02

D 0 3 D 15/04

D 0 4 B 1/20

D 0 4 B 21/00

【F I】

D 0 2 G 1/02 Z

D 0 3 D 15/04 1 0 2 B

D 0 4 B 1/20

D 0 4 B 21/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 8 月 10 日 (2004.8.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

糸条 A と糸条 B が共に S Z 交互撚糸であり、糸条 A と糸条 B が引き揃えられて S Z 交互撚り構造を形成すると共に、糸条 A を構成する単繊維と糸条 B を構成する単繊維とが部分的に融着部を形成していることを特徴とする特殊仮撚加工系。

【請求項 2】

共に S Z 交互撚糸である糸条 A と糸条 B とを合糸して仮撚加撚域へ供給し、糸条 A を構成する単繊維及び又は糸条 B を構成する単繊維に融着を生じさせる温度で仮撚加撚することを特徴とする特殊仮撚加工系の製造法。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の特殊仮撚加工系で一部又は全部が構成された織編物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

【発明の実施の形態】

本発明の特殊仮撚加工系において、加工系を構成する糸条 A と糸条 B とが共に S Z 交互撚糸であることと、糸条 A と糸条 B が引き揃えられて S Z 交互撚り構造を形成することが必要である。糸条 A と糸条 B には単繊維が揃った集束構造を有している撚り部がそれぞれ存在し、更に糸条 A と糸条 B とが引き揃えられて形成された S Z 交互撚り構造が、諸撚糸の上撚りに相当するものとなり、本発明の特殊仮撚加工系は、諸撚糸様のハリ・コシ、ふくらみ感、ドレープ性を織編物に付与することが可能な加工系をなしている。なお、本発明において、S Z 交互撚

糸或いはＳＺ交互撚り構造とは、糸長手方向にＳ撚り部とＺ撚り部が交互に形成されている糸条或いは構造をいう。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２２】

本発明の特殊仮撚加工糸の製造法においては、糸条Ａを構成する単繊維及び／又は糸条Ｂを構成する単繊維に溶融を生じさせる温度で仮撚加撚を行うことが必要であり、単繊維に溶融を生じさせる温度で仮撚加撚を行うことにより、糸条Ａを構成する単繊維と糸条Ｂを構成する単繊維とが部分的に融着部を形成させ、糸条Ａと糸条Ｂが仮撚加撚方向と同方向に合撚された部分と、仮撚加撚方向とは逆方向に合撚された部分を形成することができる。